



猫の糞から感染するトキソプラズマを知っていますか？

トキソプラズマとは

トキソプラズマは猫・牛・豚・鶏・ヤギなどの体内に寄生する「原虫」のことです。
動物の体内や猫の糞、土の中に存在し、人も経口摂取することで感染します。
牛は感染すると流産したり、お乳の出が悪くなることがあります。

ネコを媒介する

特に猫の糞に含まれるトキソプラズマは、土や水の中で何ヶ月も残り続けます。
つまり、放し飼い猫や野良猫などの外ネコがトキソプラズマを拡散してしまうのです。
最近の研究で、徳之島の野良猫の間でもトキソプラズマが広まっていることが判明しました。
※トキソプラズマは世界中で確認されています



【人の場合】人はトキソプラズマを経口摂取することで感染します。
妊婦がトキソプラズマに感染すると、胎児が先天性トキソプラズマ症を発症し、眼や脳に障害が生じたり、流産に至る可能性があります。

ご注意

- 猫の放し飼いはやめましょう。
- 外にいる猫へのみだりな餌やりはやめましょう。

徳之島三町の「飼い猫の適切な飼養及び管理に関する条例」では、猫が増えすぎるのを防止するために猫の放し飼いは原則禁止としています。

また飼い猫以外の猫へのみだりな餌やりは禁止されています。

子宝の島である徳之島において、人々の健康のため、放し飼いとみだりな餌やりは、絶対にやめましょう。

徳之島三町ネコ対策協議会